

会 春風に誘われて、
自然観察 晩春の多摩丘陵を
自観 訪ねよう

平成22年4月24日(土)の自然観察会は、都立平山城址公園から八王子市の越野へ抜けるコースを散策するものだった。

今回はいつもと違うことが2つあった。参加者を募集する方法。1つ目。参加者を募集する

今までは市の広報紙やホームページに情報を掲載するとともに、案内役である日野みどりの推進委員会が今までの参加者にハガキを出していた。また、タウン紙にも情報提供し、記事を掲載してもらっていた。そのため市内の参加者よりも、市外からの参加者が多いことが何度もあった。

しかし、そのタウン紙が3月末で廃刊となり、参加者が激減するのではないかと思われた。というのも、「タウン紙を見て」と言われて申込み参加者が大変多かったためである。

2つ目。いつもの観察会は午前中で終了していたが、今回はお弁当持参で少し遠くまで足を延ばすことにしていた。参加者は減ってしまうのだ

ろうか。

4月15日、広報での募集が始まった。やはり出足が鈍い。特に市外からの参加者は少ない。やはり影響は大きいようだ。今回の場合は「お弁当持参」が響いたのかもしれない。どちらかというが高齢の方が多い観察会なので、体力的な問題で参加を見合わせていることも考えられる。

観察会当日、参加者は24名だった。昨年は雨天のため中止、一昨年は69名の参加者だった(実施場所は南平丘陵公園であった)ので、やはり影響はあったが、観察会としては説明が聞き易く、ちょうど良かったのかもしれない。ちなみに市内からの参加者16名、市外からの参加者8名だった。

京王線の平山城址公園駅前に集合し、観察会が始まった。何度も行なったことのある平山城址公園だが、季節によって違った顔が見えてくる。

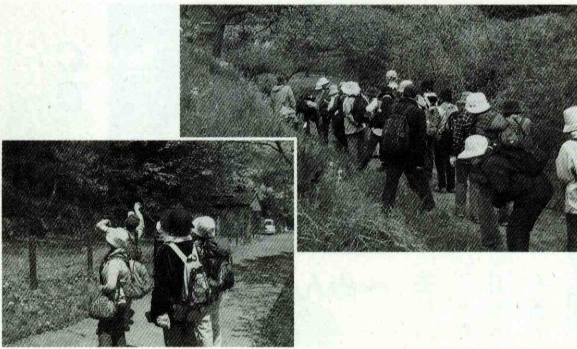
葉を落とし、冬の寒さに耐えていた木々からは、いつの間にかたくさんの緑の葉が付き、花が咲いているものもある。当たり前のことのような。毎年のサイクルだが、「どうして春がわかってくるの?」なんて考えてしまう。

場所によっても違う。タンポポなんてどこにでも

ポポは白い花を付けているとの説明があった。「えーっ?」という感じだった。自分が子どもの時に授業で教わった覚えはない。

身近な花でも知らないことだらけで、毎回勉強になる。昼食を薬科大学の構内で摂り、初めてのコースに進んだ。途中で一部の人がコースを外れるハプニングがあったり、時間が足りなくなり休憩時間短縮になったりしながら観察会は終了した。

運動不足の自分は大変疲れてしまったが、参加者の笑顔と、「楽しかったね」という言葉に癒された観察会だった。(S・N)



東京河川改修促進連盟促進大会に参加して

朝から、雨が降り続き大会開始時間の頃には、強く雨が降ってきていた5月20日(木)に、新宿にあります日本青年館大ホールにおいて第48回東京河川改修促進連盟促進大会が開催されました。

当日は、東京河川改修促進連盟理事である日野市議会の田原議長をはじめ、東京河川改修促進連盟会員であります日野市議会議員の皆様に出席をいただきました。

東京河川改修促進連盟は、東京都内における河川の氾濫・洪水の災害を防いで東京都民の福祉を増進するために、都内を流れる河川改修事業の早期達成を要望し、その実現に協力することを目的として14区、21市、2町、1村により構成されています。

促進大会では、首都東京の市街化や土地利用の高度化などにより人口や資産の集積が進んでいけるもの、安全性や快適性を確保するための基盤整備は未だ十分とはいえない

状況にあること確認しました。

そのうえで、地球規模の気候変動の影響ともいわれる自然災害の増大が懸念される現状をふまえ、都市機能の集中した首都東京においては、ひとたび水害が発生すれば甚大な被害が発生することは明らかであります。

したがって、治水対策に必要な財源を確保し、東京全域の河川改修を早期に完成し、内水対策の早期実現を国会及び政府並びに東京都に対し、強く要望する大会宣言を決議して大会は終了いたしました。(K・A)

